

群馬大学基金
令和8年度「世界を駆ける 群大若駒プログラム」
(大学院生への国際会議等渡航支援)
募集要項【令和8年度第2回】

1. 趣旨

将来、群馬から世界に羽ばたき、国際的に活躍する研究者を育成する施策として、本学の大学院生が国際会議等において発表するための渡航費等を支援します。

2. 対象者

渡航の時点で本学に在籍する大学院生で、海外に渡航して国際会議等において発表を行う者。ただし、単独発表または共同発表の第一発表者としての発表に限ります。

なお、本支援の対象となる渡航に対して、類似の別の支援(例:所属学会による渡航支援等)を受けることはできません(重複申請は差し支えありませんが、重複受給はできません)。

また、本プログラム(「世界を駆ける 群大若駒プログラム」)については、学生1人当たり在学中に受給できるのは1回限りとします。

3. 支援人数

若干名

※予算の都合上、年度の途中で募集を終了する可能性があります。

4. 対象となる渡航期間

令和8年7月1日から令和9年6月30日までの日を出発日とする渡航

5. 支援金額

参加費・登録費、航空券代(エコノミークラス利用)、日当、宿泊費、国内移動旅費を学内ルールに基づき、原則として全額支援します。

ただし、支援する渡航期間は発表する国際会議等の開催期間に移動日を加えた期間とします。例えば国際会議等の終了後に別途研究打ち合わせを行うなど、この期間を越えて滞在を伸ばしたい場合は、延長分の費用は他の財源で賄ってください。

6. 申請書類

- ・ 申請書(様式1)
- ・ 参加する国際会議等に関する資料(会議の開催内容(会議名、日程、開催地(国・地域)がわかるもの)
- ・ 申請者の発表が承認されたことを証明するもの(主催者からのメール等)
※申請時点で講演申込中である場合は、発表が確定次第提出すること。

7. 申請締め切り

令和8年5月22日(金)

参考:今後の募集・審査スケジュール

(第2回募集)

審査結果通知: 令和8年6月下旬

(第3回募集)

募集開始: 令和8年7月初旬

申請締め切り: 令和8年8月末

審査結果通知: 令和8年9月下旬

8. 申請方法

上記4の申請書類を指導教員のメールアドレスにも同報した(cc アドレスに追加した)うえで、下記「12. 書類提出・お問い合わせ先」へ電子ファイルにて提出してください。

9. 選考方法

書類審査によります。

10. 選考結果

個別に通知します。

11. 渡航後の義務

帰国後ただちに渡航完了報告書(様式2)を電子ファイルにて、下記「12. 書類提出・お問い合わせ先」に提出してください。同様に、帰国後30日以内に実施報告書(様式3)を提出してください。

これらの報告書を含め、本支援による渡航の成果は、本学ホームページ等での広報に使

用します。また、本学が企画するイベント等で発表していただくこともありますので、ご協力
ください。詳細は別途御案内します。

12. 書類提出・お問い合わせ先

群馬大学総務部総務課基金係 kikin@ml.gunma-u.ac.jp

群馬大学基金
令和8年度「世界を駆ける 群大若駒プログラム」
(大学院生への国際会議等渡航支援)
申請書

募集要項に記載の「渡航後の義務」を果たすことを承諾し、下記の通り申請します。

1. 申請者

氏名	学年	
	年齢(申請時点)	
所属研究科等名	学籍番号	
学生以外の身分を持っている場合、以下にすべて記載してください (例：日本学術振興会特別研究員、医員、〇〇株式会社(社会人大学院生の場合))		

2. 指導教員

氏名		内線	
所属・職名			

3. 国際会議等の概要

会議名			
主催団体等名			
開催期間	年	月	日
	～	年	月
	日		日
開催地	国(地域)名		都市名
渡航期間	年	月	日
	～	年	月
	日		日

※渡航期間が開催期間に移動日を加えた期間を超える場合は、旅程の詳細を申請時のメールに記載してください。

4. 発表の概要

演題			
発表形式等 ※各項目どちらかに✓ をつけてください。	①形式	口頭発表	ポスター発表
	②役割	単独発表	共同発表で第一発表者
	③状況	発表確定済	発表未確定
発表内容の概要(200字以内)			

5. 渡航の意義等（600 字以内）

今回発表する研究内容に関して自身が果たした役割について述べるとともに、この渡航が自身の研究活動にとってどのような意義があるか、渡航への意欲を含めて説明してください。また、この渡航によって得られる経験を将来どのように生かしたいか、抱負を述べてください。

6. これまでの学会・研究会・国際会議等での発表歴（例示にならって列挙してください）

例：日本〇〇学会春季年会「〇〇に関する研究」〇年〇月 東京都調布市

※ 単独発表または共同発表で第一発表者のもののみ記載してください。

※ 国外での発表の場合、開催地に国・地域名を付記してください。

※ 10 件以上ある場合は主なものを 10 件のみ記載し、その他については最終行に「ほか〇件」として件数のみ記載してください。

- ・
- ・
- ・

群馬大学基金
令和8年度「世界を駆ける 群大若駒プログラム」
(大学院生への国際会議等渡航支援)
渡航完了報告書

以下のとおり国際会議等で発表しましたので、その旨報告します。

国際会議等名：

渡航先国：

渡航期間： 年 月 日 ～ 年 月 日

発表の演題（講演タイトル）：

報告者 氏 名：

所属研究科等名：

学 籍 番 号：

群馬大学基金
令和8年度「世界を駆ける 群大若駒プログラム」
(大学院生への国際会議等渡航支援)
実施報告書

報告者 氏 名 :

所属研究科等名 :

学 籍 番 号 :

作成上の注意事項

- ・この報告書は本プログラムの意義を広く伝えるために公開し、群馬大学基金への寄付者、将来の寄付者となる可能性のある企業や個人、大学執行部、学内の教職員、学内外の大学院生・学部生、受験生といった幅広いステークホルダーの目に触れるものとなります。作成にあたってはわかりやすさや読みやすさを重視し、特に専門用語の使用は最小限にとどめつつ、必要に応じて簡単な説明を加えるなどの工夫をしてください。
- ・今回支援を受けた渡航について、最低限、
 1. 発表した国際会議等の概要
 2. 自身の発表内容の概要
 3. 発表に対する周囲の反応や手ごたえ
 4. その他、今回の発表（渡航）による研究上の収穫
 5. 渡航中に印象に残ったこと
 6. 海外経験に対する感想を含める形で報告してください。この際、発表内容の報告ではなく渡航報告であることを念頭に、1 及び 2 に多くの紙面を割きすぎないように注意してください。
- ・報告書は2 ページ（2 段組）とし、本文中に写真（自身で撮影したものなど、著作権等の問題がないもの）を2 点含めてください。その際、簡単なキャプションを添えてください。
- ・本文のフォントサイズは10.5 ポイント、キャプションのフォントサイズは8 ポイントとしてください。
- ・報告書の最後には謝辞を記してください。
- ・報告書はそのまま公開される前提で、誤字等のないよう、また、研究上の秘密といった公開できない内容を含まないよう注意して作成してください。なお、公開にあたっては大学側の判断により、校正や一部表現の調整、分量の調整、要約等を行うことがありますので、あらかじめご了承ください。

群馬大学基金「世界を駆ける 群大若駒プログラム」実施報告書

氏名：

(本文ここから)